

# つくるう いかそう 福井の道

## 道づくりの3つの進め方

3つのポイントを踏まえて道づくりを進めます！

### ① 効率的、経済的な事業展開を図る

- 選択と集中やローカルルール※による早期完成
- 建設から維持管理までを含めた総費用の軽減
- 既存の道路(ストック)の維持管理の充実と有効活用

※ローカルルール: 地域の実情に応じた、柔軟な規格運用

### ② 県民にわかりやすい指標による評価を行う

- 事業前、事業中、完成後の評価
- 成果(アウトカム※)に着目した指標による評価

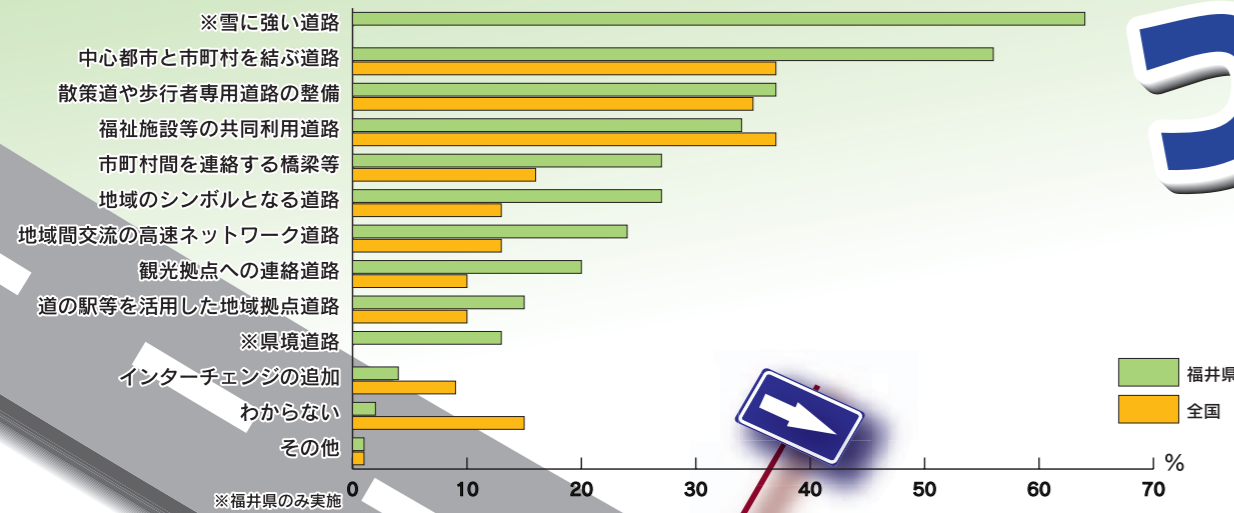
※アウトカム: 社会に与える効果や、利用者の満足度

### ③ 県民の意見を聞く取組みを進める

- 積極的な広報・説明活動
- 県民の意見やニーズの把握

→ P3

## ● 道路に関する県民ニーズ

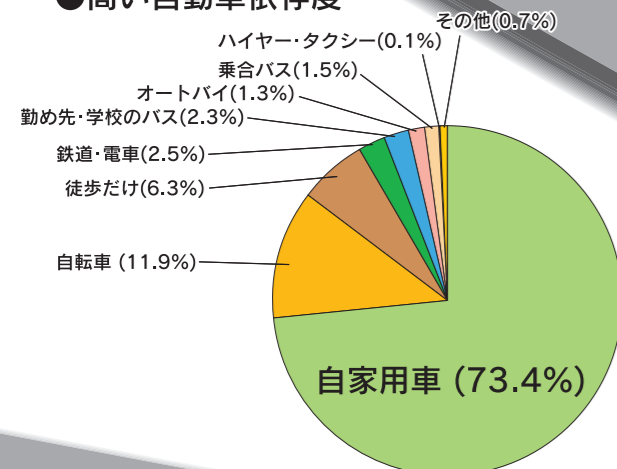


活力ある地域づくりのためにどんな道路整備が必要か (平成14年「福井の道路についてのアンケート」より、複数回答)

## 道路を取り巻く課題

- 「列島の真ん中」という地の利を活かす必要がある。
- 高速道路が繋がっていないため、高速交通ネットワークの構築が必要である。
- 産業の活性化や市町村合併など新たな地域間の連携が必要である。

## ● 高い自動車依存度



福井県における通勤・通学時の利用交通手段 (「平成12年 国勢調査」より)

- 高齢者や身障者を含めた全ての利用者への配慮が必要である。
- 災害や雪に強く、事故の少ない安全・安心な生活の確保が必要である。
- 健康でいきいきと暮らせる地域社会の実現が必要である。

- 歴史と文化の香りたつ個性と魅力あるまちづくりが必要である。
- 美しいふるさとの環境保全が必要である。
- 豊かな自然など豊富な観光資源の活用が必要である。



舞鶴若狭自動車道 大飯高浜IC

地域を **きずく** 道づくり

■ 国土・地域の再構築

地域を **まもる** 道づくり

■ 安全で安心な地域づくり

地域を **そだてる** 道づくり

■ 空間的価値の再生

元気な県土づくり  
三つの『道づくり』による

きずくとは...

- 大都市圏との交流の促進
- 県境を越えた連携の強化
- 地域間連携の強化
- 地域開発の支援

P5

まもるとは...

- 過疎・高齢化・多自然型居住への対応
- 複数ルート確保
- 耐雪力の向上
- 誰もが使いやすいデザインの採用

P7

そだるとは...

- 公共交通機関との連携・支援
- 道路空間の利活用
- まちづくりとの連携・支援
- 観光資源の有効活用への支援
- 環境との調和

P9

